

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の学習成果と学位論文等審査基準の対応マップ

		卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の学習成果			
		1	2	3	4
学位論文審査基準	1	◎		○	○
	2				
	3	◎	◎	◎	
	4		○	○	
	5	◎			○
	6			○	

政治学研究科博士前期課程の学位論文を評価するためのルーブリック

	最高段階	2 番目の段階	最低段階
研究課題の明確性及び先行研究を踏まえての的確性	先行研究の批判的検討を踏まえ、研究課題が明確かつ的確に設定されている。	先行研究の批判的検討は十分であるものの、研究課題が明確かつ的確に設定されていない。	先行研究の批判的検討が不十分である。
課題を追求する上での方法論の適切性	研究課題を追求するための方法論に関する検討を踏まえ、適切な方法が採用されている。	研究課題を追求するための方法論に関して検討したもの、適切な方法が採用されていない。	研究課題を追求するための方法論に関する検討が不十分である。
研究方法及び調査方法の妥当性	研究課題の解明のために必要な資料やデータなどを十分に収集し、その分析や処理が批判的かつ実証的になされている。	研究課題の解明のために必要な資料やデータなどを十分に収集したものの、その分析や処理が批判的かつ実証的になされていない。	研究課題の解明のために必要な資料やデータなどを十分に収集していない
結論の妥当性	研究の結論が、研究課題との対応が明確で、論理や実証面で妥当なものとなっている。	研究の結論が、論理や実証面で妥当であるものの、研究課題との対応が明確でない。	研究の結論が、論理や実証面で妥当でない。
研究の独創性と研究分野への貢献	研究に独創性が認められ、当該研究分野に一定の学術的貢献をなす可能性を有している。	研究の独創性は不十分であるものの、当該研究分野に一定の学術的貢献をなす可能性を有している。	研究に独創性が認められず、当該研究分野に一定の学術的貢献をなす可能性もない。
その他	研究倫理が遵守されている。また学術論文としての体裁が整ったものである。	学術論文としての体裁は整っていないものの、研究倫理が遵守されている。	研究倫理が遵守されていない。